



誕生おめでとう

5/30・茶屋場 保護者〓佑輔・なつき



嵯峨菜央ちゃん

6/2・泉田 保護者〓浩美・清子



佐々木理人くん

6/14・元木 保護者〓修・京子



元村胡桃ちゃん

6/16・小苗代 保護者〓洋一・百恵



大川原杏実ちゃん



末永くお幸せに

〔世帯主〕

福井 晴晶 橋場 育男
大平まどか 盛岡市 洋



やすらかに

〔世帯主〕

野頭	リツ	(77)	新町)	論
赤坂	敏雄	(83)	新町)	敏 行
西村	ヨシ	(95)	車門)	富 雄
三澤	省儀	(83)	車門)	ユ 美
漆眞	下正身	(75)	橋場)	弘 勝
尻高	澤安造	(79)	大沢)	正 春
下橋	場政一郎	(88)	橋場)	勝 男
向川	原勇夫	(65)	橋場)	ツ ヤ

～以上 6月届け出分・敬称略～

※広報に載せてほしくない方は届け出のときに係にお話してください。

葛巻町合併50周年 回顧録



昭和47年葛巻中新校舎2期工事の最中、行われた中学校記録会の様子、行われた中学校記録会



昭和45年葛巻高校発足を祝うパレード（出発前）㊤と当時の新校舎

昭和四十年、県下に先駆け、町で教育振興運動が始まりました。文部省が行った児童生徒の学力調査で岩手県が全国最下位（三十七、三十八年度）となり、その中でも低かった本町は、教育振興の重点開発地域に県教委から指定されました。早速、教育推進委員会を設置し、子どもたちの教育を高めるために、学校統合の推進、へき地教育センターの活用、家庭教育の充実などの方針が打ち出されました。「子どもに勉強部屋を与えよう」が初年度のスローガンで、町を挙げて運動に取り組みました。

同年、葛巻幼稚園が開園し、四十五年には念願の葛巻高校が発足しました。学校施設の建設は五十年代半ばまで次々と続けられ、教育環境の整備とともに学校統合も進められました。少子化が進む中、平成十四年から町内三中学校と葛巻高校との連携型中高一貫教育が始まりました。本年四月、大規模な統合により小学校は十一校から六校に減少。今後も学校統合や高校再編の課題が山積みです。

広報室から



◎町の五十周年の年表づくりに明け暮れた七月、町の出来事に「懐かしい」「へえー」の連発。写真を見ながら、その時々「輝いている人たち」を見るのは楽しい時間でした。▽過去の取り組みが今の町の姿をつくり、これが未来に続いていることを実感しました。人生も同じかな？

◎今月のヒット「やなぎじやあ」。吉ヶ沢児童館で聞いたひと言です。答えはサッカーの柳沢選手。沢をじゃあと言ひ替えるあたりは、さすが！としか言えません。葛巻っ子たちに完敗です。（星野）

町の人口

17.7.1現在 (前月比)

男	4,155人	(-)	3)
女	4,360人	(+)	5)
計	8,515人	(+)	2)
世帯数	2,926戸	(+)	3)

(住民基本台帳)